

工事履行報告書

報告日：平成27年8月20日（契約日から 113日）

契約番号：〇〇 工事番号：〇-〇

工事名：〇〇〇〇〇〇転落防護柵設置工事

工期 平成27年 5月 1日 ~ 平成27年10月31日 (184 日間)

現場代理人：都留太郎 主任技術者又は監理技術者：上谷次郎

自動計算
見積額/全体見積

自動計算
当該工程の出来高数量/当該工程全体の設計数量

自動計算
構成率×進捗率金額

工種等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	見積額① (円)	構成比② (%)	進捗率③ (%)	出来高金額④ (円)	備考	
道路土工	予定	→												760,000	7.42	80.00	608,000	
	実施	→																
石・ブロック積(張)工	予定		→											5,980,000	58.41	70.00	4,186,000	
	実施		→															
構造物撤去工	予定		→											116,000	1.13	50.00	58,000	
	実施		→															
防護柵工	予定		→											2,202,000	21.51	50.00	1,101,000	
	実施		→															
舗装工	予定						→						1,180,000	11.53				
	実施						未着手											
予定																		
実施																		
予定																		
実施																		
予定																		
実施																		
予定																		
実施																		
合計													10,238,000	100.00		5,953,000		

直接工事費の各工種等ごとの見積額に対する執行済額を記入すること。(工程の進捗率ではないので注意する。)

- 注1 見積額①は、直接工事費ベースで記入し、その合計は入札時に提出した工事費内訳書の直接工事費の合計と一致すること。
- 注2 構成比②は、見積額①の合計に占める各工種等毎の構成割合を記入する。端数処理上、100%にならない場合がある。
- 注3 進捗率③は、各工種等毎に報告時点の状況を記入する。
- 注4 出来高金額④は、各工種等毎に見積額①に進捗率③を乗じて算出し、それぞれ記入する。
- 注5 出来高進捗率⑤(出来高金額合計÷見積金額合計)は50%以上であること。
- 注6 工程表の記入については、契約時に提出した工程表等に基づき作成すること。なお、工程に変更が生じた場合は、適宜変更すること。
- 注7 内容を確認後は、「1 認定」又は「2 不認定」のいずれかに〇印を付け、不認定の場合はその理由を記入し、確認欄に押印後契約担当課へ送付すること。

出来高進捗率⑤ (%) 58.15% 50%以上認定
自動計算 自動計算

1 認定	2 不認定
不認定の場合の理由	

確認欄		
課(かい)長	課長補佐	監督員

(監督員確認事項)
 報告日において、工期の2分の1を経過している。
 計画工程において、工期作業の2分の1以上が実施済みである。
 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が、請負代金額の2分の1以上の額に達している。